

F★★★★  
ホルムアルデヒド放散等級



# KANPE FLOOR

カンペフロアーシリーズ

KANPE FLOOR 100

KANPE FLOOR 200

KANPE FLOOR 400

KANPE FLOOR 600

## 防塵美塗装床材薄膜形

# カンペフロアー

カンペフロアー100   カンペフロアー200  
カンペフロアー400   カンペフロアー600

カンペフロアーは、美しい色彩環境作りにお役に立つ床用塗料です。

コンクリートやアスファルトの床面を、継ぎ目のない床用塗料で保護することにより

美粧性・防塵性に大変優れるようになります。

また、製品のバリエーションも豊富で、厳しい環境にマッチした画期的なシリーズです。

### 製品一覧表

製品名 項目	カンペフロアー 100	カンペフロアー 200	カンペフロアー 400	カンペフロアー 600
系 統	1液形アクリル樹脂エマルジョン	1液形アクリル樹脂	2液形ウレタン樹脂	2液形エポキシ樹脂
つ や	つや有り	つや有り	つや有り	つや有り
適応素地	アスファルト・コンクリート	モルタル・コンクリート	モルタル・コンクリート	モルタル・コンクリート
特 長	速乾性で、カラー舗装用として最適。水系のため消防法による危険物の規制を受けません。	速乾性で肉持ちがよく、光沢にすぐれ耐候性に富んでいます。	速耐候性、耐磨耗性、付着性にすぐれ、耐薬品性と防塵効果に富んでいます。	耐薬品性、衝撃性にすぐれ、化学薬品に対しても高度な抵抗性をもっています。
乾燥時間(23℃)	3時間	2時間	16時間	16時間
可使時間(23℃)	—	—	8時間	8時間
荷 姿	16kg	15kg	ベース:14kg 硬化剤: 2kg	ベース:15kg 硬化剤: 3kg
用 途	軽歩行床用 ●スクールゾーン ●遊歩道 ●公園広場	一般床用 ●工場 ●倉庫 ●学校 ●病院 ●事務所	耐磨耗床用 ●工場 ●倉庫 ●駐車場 ●事務所 ●研究所 ●集合住宅の廊下	耐薬品床用 ●工場(化学、化繊、印刷工場) ●倉庫 ●病院 ●電算室

### カンペフロアー用 下塗り

製品名 項目	951-101 カンペフロアー100シーラー	主 剤 211-500 硬化剤 211-550 浸透形シーラー
系 統	1液水性アクリルシーラー	2液形エポキシ樹脂シーラー
色	透明(白濁)	透 明
特 長	新設及び劣化したモルタル・コンクリート面の補強と密着性向上。	新設及び劣化したモルタル・コンクリート面の補強と密着性向上。
塗 膜 性 能	アルカリ押え	○
	吸込み押え	○
	油分押え	—
	水分押え	—
適 合 上 塗 り	カンペフロアー100	カンペフロアー200、400、600
希 積 シ ン ナ ー	—	—
希 積 率(外割り%)	原液のまま使う	原液のまま使う
所 要 量(kg/m <sup>2</sup> /回)	0.10~0.12	0.18~0.21
乾 燥 時 間(23℃)	1時間	24時間
可 使 時 間(23℃)	—	5時間
荷 姿	16kg	ベース:12.8kg 硬化剤: 3.2kg 16kgセット

# カンペフロアー 100

## ■1液形アクリル樹脂エマルジョン

カンペフロアー100は作業性がよく、水性ですから火災や有機溶剤中毒の危険性がなく、また消防法の危険物に該当しないので、消防法による規制を受けません。

### 特長

- ①無鉛です。黄鉛などの鉛顔料を使用していませんので安心です。
- ②溶剤系アクリル系の旧塗膜への付着性もよく、旧塗膜を軟化、膨潤させる心配がありません。
- ③従来の水性床用塗料と比べて速乾性に優れています。
- ④塗膜硬度が高いため、汚れや傷がつきにくいです。
- ⑤耐候性、耐水性に優れ屋外にも施工できます。

### 用途

一般床用(コンクリート、アスファルト)(駐車場や重量運搬の多い工場や倉庫には適しません。) 工場、倉庫、遊歩道、学校、病院

### 標準仕様

【新設】

工程	塗料・処置	所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔(23℃)	塗装方法	希釈率(ローラー塗り)	摘要
素地調整						ゴミ、泥などを除去し、乾燥した清潔な面とする。
下塗り	カンペフロアー100シーラー	0.10	1時間~7日以内	中毛ローラー	—	
上塗り(1回目)	カンペフロアー100	0.12	3時間~7日以内	中毛ローラー	0~5%	上水で希釈
上塗り(2回目)	カンペフロアー100	0.12	—	中毛ローラー	0~5%	

【塗替え】

工程	塗料・処置	所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔(23℃)	塗装方法	希釈率(ローラー塗り)	摘要
素地調整	劣化した旧塗膜やゴミ、泥などを手工具・電動工具を用いて完全に除去し、乾燥した清潔な面とする。 素地の露出した箇所はカンペフロアー100シーラーで補修塗る。					
上塗り(1回目)	カンペフロアー100	0.12	3時間~7日以内	中毛ローラー	0~5%	上水で希釈
上塗り(2回目)	カンペフロアー100	0.12	3時間~7日以内	中毛ローラー	0~5%	

- ノンスリップ性を必要とするときは、上塗り(1回目)(2回目)に珪砂(8~7号)を重量比で30%混合して塗装ください。
- また、珪砂を散布する場合は、上塗り(1回目)塗装後5分以内にm<sup>2</sup>当たり60~80gの珪砂を散布ください。

### 注意事項

- ①開缶後よくかき混ぜて中身を均一にしてから使用してください。
- ②天候不順、高湿度(85%RH以上)、夜露等の影響で乾燥不良となることがあります。  
冬期や雨天が予想される場合には特に注意してください。
- ③5℃以下で床面に塗装すると、塗料の造膜不良となり塗膜割れが発生します。
- ④新設でもないアスファルトにはタールの揮発成分が残存しており、塗装を行うと塗膜へ悪影響(塗膜の割れ剥離)が発生することがあります。水洗にてアスファルトからの油分が浮き出てこないことを事前に確認してください。
- ⑤アスファルト打設後は少なくとも4週間以上(20℃)、冬期の場合は少なくとも8週間以上乾燥日数をおいてから塗装を行ってください。
- ⑥アスファルトの転圧が不十分な場合は、塗膜の収縮により反りが起こることがあります。  
十分な転圧がされているか事前に点検してください。
- ⑦素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2)、または5%以下(ケツ科学社製HI-500シリーズ:コンクリートレンジ)の条件で塗装してください。
- ⑧素地や旧塗膜の種類によっては付着が悪い場合がありますので、試験塗装で付着性を確認してください。
- ⑨塗替えの場合、旧塗膜の上にシーラーを塗装すると却って付着不良を生じることがありますのでご注意ください。
- ⑩フェロコン・カラコンのような強化コンクリートには付着しません。
- ⑪コンクリートのクラック、穴埋めには状態に応じ、樹脂モルタルまたはセメントフィラーを充填してください。
- ⑫塗装用具等の洗浄は作業終了後すぐに水を用いて十分に行ってください。

### カンペフロアー100性能

試験項目	試験結果	試験方法
硬 度	F	鉛筆硬度試験(JIS K 5600-5-4)
光 沢	60/86	20°/60°(グリーン系)
磨耗減量(mg)	34	テーバー磨耗試験(CS-17 500g×1000回転)
耐 水 性	○	23℃上水浸漬試験×10日間(剥離、変色のないこと)
耐 塩 水 性	○	5%食塩水23℃×10日間浸漬(剥離、変色のないこと)
耐 候 性	○	SWOM500時間
乾 燥 時 間	3時間	23℃
歩行可能時間	5時間	23℃

荷姿と混合比:カンペフロアー100(16kg) カンペフロアー100シーラー(16kg)

# 100

## KANPE FLOOR 100



# カンペフロアー 200

## ■1液形アクリル樹脂床用エナメル

カンペフロアー200は速乾タイプで、肉持ちがよく塗面の光沢性にすぐれています。また、耐久性が良いので、いつまでも鮮やかな色あいを保ちます。

### 特長

- ①速乾性です。
- ②肉持ちが良く、光沢のすぐれた塗膜が得られます。
- ③防塵効果がすぐれています。
- ④光沢低下が少なく、耐候性がすぐれています。

### 用途

一般床用(駐車場への適用は避けてください。)

工場 倉庫 市場 遊歩道 学校 病院 事務所 住宅

### 標準仕様

工程	塗料・処置	所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔(23℃)	塗装方法	希釈率(ローラー塗り)	摘要
素地調整			ゴミ、汚れ、油などを除去し、乾燥した清浄な面とする。			
下塗り	浸透形シーラー	0.18	24時間~7日以内	中毛ローラー	—	主剤4、硬化剤1の割合で混合する。
上塗り(1回目)	カンペフロアー200	0.15	2時間~7日以内	中毛ローラー	20~30%	シンナーはアレス
上塗り(2回目)	カンペフロアー200	0.15	—	中毛ローラー	20~30%	外用用シンナーA

- ノンスリップ性を必要とするときは、上塗り(1回目)塗装時に珪砂(8~5号)を重量比で20~30%混合して塗装ください。又、珪砂を散布する場合は、上塗り(1回目)塗装後3分以内に㎡当り60~80gの珪砂を散布してください。

### 注意事項

- ①素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2)、または5%以下(ケツ科学社製HI-500シリーズ:コンクリートレンジ)の条件で塗装してください。
- ②クラック、穴埋めには、状態に応じ、モルタル又はセメントフィラーを充填してください。
- ③塗り替えの場合は、旧塗膜が塩化ビニル系、アクリル系のものであればシーラーなしで直接塗り重ねてもさしつかえありません。
- ④屋内塗装の場合、有機溶剤が屋内にこもりますので、必ず換気を行い、マスクを使用してください。安全上、塗膜性能上よくありません。
- ⑤素地や旧塗膜の種類によっては付着が悪い場合がありますので、試験塗装で付着性を確認してください。(フェロコン・カラコンのような強化コンクリートには付着しません。)
- ⑥高湿度下ならびに被塗面が結露していたり、塗装後結露するような条件下では塗装を避けてください。

### カンペフロアー200性能

試験項目	試験結果	試験方法	
接着強度	1.5N/mm <sup>2</sup> (素材破壊)	建研式接着力試験	
硬度	H	鉛筆硬度試験(JIS K 5600-5-4)	
磨耗減量(mg)	52	テーバー磨耗試験(CS-17 500g×1000回転)	
耐水性	○	20℃上水に10日間浸漬	
耐塩水性	○	5%食塩水に20℃×10日間浸漬	
耐油性	灯油	○	灯油10日間浸漬
	機械油	○	マシン油10日間浸漬
耐候性	○	ウェザーオメーター1000時間	
耐衝撃性	○	JIS K 5970 7.9	
乾燥時間	2時間	23℃	
歩行可能時間	5時間	23℃	

荷姿:15kg

# 200

## KANPE FLOOR 200



# カンペフロアー 400

## ■2液形ウレタン樹脂床用エナメル

カンペフロアー400は耐候性、付着性が良く耐摩耗性にすぐれています。  
また、化学薬品などに対する耐薬品性を有し、ほこりがたちにくく防塵効果にもすぐれています。

### 特長

- ①耐摩耗性にすぐれています。
- ②耐候性、光沢保持性にすぐれています。
- ③付着性にすぐれています。
- ④耐水性、耐薬品性にすぐれています。
- ⑤防塵効果がすぐれています。

### 用途

#### 耐摩耗床用

工場 学校 病院 倉庫 塗装室 駐車場 市場 遊歩道 事務所 住宅

### 標準仕様

工程	塗料・処置	所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔(23℃)	塗装方法	希釈率(ローラー塗り)	摘要
素地調整						ゴミ、汚れ、油などを除去し、乾燥した清浄な面とする。
下塗り	浸透形シーラー	0.18	24時間～7日以内	中毛ローラー	—	主剤4、硬化剤1の割合で混合する。
上塗り(1回目)	カンペフロアー400	0.15	16時間～7日以内	中毛ローラー	20～30%	主剤7、硬化剤1の割合で混合する。 シンナーはアレスウレタンシンナー
上塗り(2回目)	カンペフロアー400	0.15	—	中毛ローラー	20～30%	

- ノンスリップ性を必要とするときは、上塗り(1回目)塗装時に珪砂(8～5号)を重量比で20～30%混合して塗装ください。  
又、珪砂を散布する場合は、上塗り(1回目)塗装後5分以内にm<sup>2</sup>当り60～80gの珪砂を散布してください。

### 注意事項

- ①素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2)、または5%以下(ケット科学社製HI-500シリーズ:コンクリートレンジ)の条件で塗装してください。
- ②クラック、穴埋めには、状態に応じ、モルタル又はセメントフィラーを充填してください。
- ③主剤と硬化剤は所定の割合に正しく調合し、充分かき混ぜてから使用してください。
- ④可使時間内に使いきる量だけ調合してください。(8時間/23℃)
- ⑤高湿度下ならびに被塗装面が結露していたり、塗装後結露するような条件下では塗装を避けてください。
- ⑥塗料(インシアネート)が皮膚につくと、人によってはカブレをおこすことがありますので、皮膚につかないよう取り扱ってください。
- ⑦屋内塗装の場合、有機溶剤が屋内にこもりますので、必ず換気を行い、マスクを使用してください。安全上、塗膜性能上よくありません。
- ⑧素地や旧塗膜の種類によっては付着が悪い場合がありますので、試験塗装で付着性を確認してください。  
(フェロコン・カラコンのような強化コンクリートには付着しません。)
- ⑨過度に厚塗りすると塗膜が発泡することがありますのでご注意ください。

### カンペフロアー400性能

試験項目	試験結果	試験方法	
接着強度	1.8N/mm <sup>2</sup> (素材破壊)	建研式接着力試験	
硬 度	2H	鉛筆硬度試験(JIS K 5600-5-4)	
磨耗減量(mg)	40	テーバー磨耗試験(CS-17 500g×1000回転)	
耐 水 性	○	20℃上水に10日間浸漬	
耐 塩 水 性	○	5%食塩水に20℃×10日間浸漬	
耐 油 性	灯 油	○	灯油10日間浸漬
	機 械 油	○	マシン油10日間浸漬
耐 薬 品 性	塩 酸	○	5%塩酸溶液10日間浸漬
	アルカリ性	○	5%苛性ソーダ溶液10日間浸漬
耐 候 性	○	ウェザーオメーター1000時間	
耐 衝 撃 性	○	JIS K 5970 7.9	
乾 燥 時 間	4時間	23℃	
歩行可能時間	16時間	23℃	

荷姿:16kgセット

# 400

## KANPE FLOOR 400



# カンペフロアー 600

## ■2液形エポキシ樹脂床用エナメル

カンペフロアー600は化学薬品に対して高度な耐薬品性を持っています。  
化学工場などの耐薬品床用として開発された画期的な塗材です。

### 特長

- ①付着性、耐久性にすぐれています。
- ②硬度が高く、耐磨耗性にすぐれています。
- ③酸、アルカリ、塩類などに対して高度の耐薬品性を持っています。
- ④耐溶剤性がすぐれています。
- ⑤防塵効果がすぐれています。

### 用途

#### 耐薬品床用

化学、化繊、食品などの工場 研究室 病院 塗装室 学校 倉庫 市場 事務所

### 標準仕様

工程	塗料・処置	所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔(23℃)	塗装方法	希釈率(ローラー塗り)	摘要
素地調整			ゴミ、汚れ、油などを除去し、乾燥した清浄な面とする。			
下塗り	浸透形シーラー	0.18	24時間～7日以内	中毛ローラー	—	主剤4、硬化剤1の割合で混合する。
上塗り(1回目)	カンペフロアー600	0.20	16時間～7日以内	中毛ローラー	5～10%	主剤5、硬化剤1の割合で混合する。
上塗り(2回目)	カンペフロアー600	0.20	—	中毛ローラー	5～10%	シンナーはアレスエポキシシンナー

- ノンスリップ性を必要とするときは、上塗り(1回目)塗装時に珪砂(8～5号)を重量比で20～30%混合して塗装ください。  
又、珪砂を散布する場合は、上塗り(1回目)塗装後5分以内に㎡当り60～80gの珪砂を散布してください。

### 注意事項

- ①素地のアルカリ度はpH1.0以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2)、または5%以下(ケツ科学社製HI-500シリーズ:コンクリートレンジ)の条件で塗装してください。
- ②クラック、穴埋めには、状態に応じ、モルタル又はセメントフィラーを充填してください。
- ③主剤と硬化剤は所定の割合に正しく調合し、充分かき混ぜてから使用してください。
- ④可使時間内に使いきる量だけ調合してください。(8時間/23℃)
- ⑤高湿度下ならびに被塗装面が結露していたり、塗装後結露するような条件下では塗装を避けてください。
- ⑥塗料が皮膚につくと、人によってはカブレをおこすことがありますので、皮膚につかないよう取り扱ってください。
- ⑦屋内塗装の場合、有機溶剤が屋内にこもりますので、必ず換気を行い、マスクを使用してください。安全上、塗膜性能上よくありません。
- ⑧素地や旧塗膜の種類によっては付着が悪い場合がありますので、試験塗装で付着性を確認してください。  
(フェロコン・カラコンのような強化コンクリートには付着しません。)
- ⑨過度に厚塗りすると塗膜が発泡することがありますのでご注意ください。

### カンペフロアー600性能

試験項目	試験結果	試験方法	
接着強度	2.7N/mmf(素材破壊)	建研式接着力試験	
硬度	3H	鉛筆硬度試験(JIS K 5600-5-4)	
磨耗減量(mg)	60	テーバー磨耗試験(CS-17 500g×1000回転)	
耐水性	○	20℃上水に1ヵ月浸漬	
耐塩水性	○	5%食塩水に20℃×1ヵ月浸漬	
耐油性	灯油	○	灯油10日間浸漬
	機械油	○	マシン油10日間浸漬
耐薬品性	塩酸	○	10%塩酸溶液10日間浸漬
	硫酸	○	10%硫酸溶液10日間浸漬
	酢酸	○	10%酢酸溶液10日間浸漬
	アルカリ性	○	10%苛性ソーダ溶液10日間浸漬
耐衝撃性	○	JIS K 5970 7.9	
乾燥時間	16時間	23℃	
歩行可能時間	48時間	23℃	

荷姿:18kgセット

# 600

## KANPE FLOOR 600





## ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。  
詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

### ■ 予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。

皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。

火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。  
火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。

裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。

本来の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。  
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。

取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。

本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

### ■ 対 応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。  
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

### ■ 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。

直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。

子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

### ■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

### ■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。





## 関西ペイント販売株式会社

 関西ペイントホームページ  
[www.kansai.co.jp](http://www.kansai.co.jp)

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757  
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073  
北関東圏 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935  
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981  
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285  
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950  
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

(21年12月12日PJP)カタログNo.220